

うまい!

岩船米づくり情報 No. 9

平成 27 年 8 月
岩船米技術者会議
村上農業普及指導センター
J A にいがた岩船

刈り遅れによる胴割れの発生に注意!

最後まで気を緩めずに...

適期収穫と丁寧な乾燥・調製で全量 1 等米を!

◇今年の出穂状況 ～穂の充実・穂揃いとも概ね良好です～

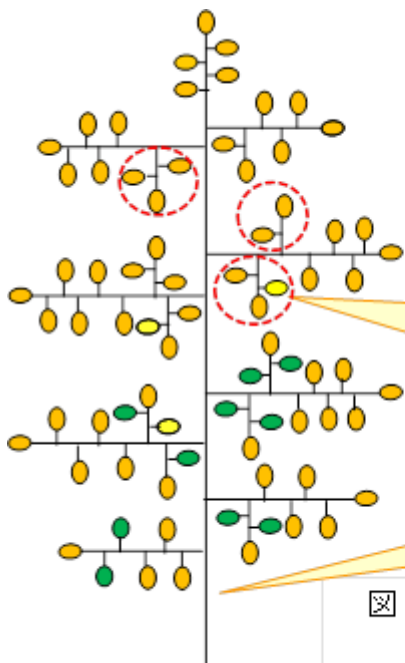
- ・コシヒカリを始めとする各品種の出穂期は、平年比 3 日程度早くなりました。
- ・7月中旬から8月上旬にかけて高温・多日照で経過し、穂肥が適期・適量施用されたことから、コシヒカリの穂の充実は良く、穂揃いもやや良となりました。
- ・早生品種は、出穂期から登熟初期にかけての高温の影響で、胴割れ粒や白未熟粒の多発生が心配されるので、特に適期収穫と丁寧な乾燥・調製が重要です。

◇品種別の出穂期と収穫適期のめやす (8月19日現在)

品 種 名	出穂期	収穫適期のめやす
新潟次郎 (飼料用米)	7月20日	8月26日～8月30日
こしいぶき	7月27日	9月2日～9月6日
コシヒカリ	8月7日	9月16日～9月20日
こがねもち	7月31日	9月7日～9月11日
五百万石	7月24日	8月29日～9月2日
越 淡 麗	8月13日	9月26日～9月30日

※収穫適期のめやすは、出穂期以降の積算平均気温による予想値。積算方法は出穂期翌日～8月17日までは実測値(本年値)、8月18日以降は、平年気温で推移したと仮定している。

※コシヒカリでは、上記より2～3日早く出穂した地域もあるので、刈り遅れに十分注意する。



- 黄化粉
- 黄化直後の粉
- 緑色粉

赤点線内(上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗粉)が黄化した時が刈取適期

1次枝梗数が9本程度の平均的な穂を選ぶ

☑ 収穫適期の黄化粉率85～90%の状況 (富山県水稻栽培指針から引用)

黄化粉割合 85～90%の頃が収穫適期です。
胴割れ防止のため、刈り遅れに注意しましょう!



～用水は、掛け流しせずに、地域全体で無駄なく大切に使いましょう～

◇今後の栽培管理のポイント

1 出穂 25 日後までの「飽水管理」で根の活力維持を！

※水管理のポイントは、根の活力低下を防止することです。こまめな水管理で、根への酸素供給と水分供給を行いましょ。

- ・出穂後 25 日（収穫の 2 週間前）以降までの飽水管理（水がなくなったら補給する管理）で、イネが水を十分に吸収し、登熟向上が図られるように心がけましょ。
- ・フェーン現象やダシ風が予想される場合は、速やかに湛水して稲を保護しましょ。
- ・コシヒカリでは、完全に落水するのは 9 月 5 日以降としましょ。

2 刈り取り前の準備を万全に！ ～高温下の収穫作業の準備を！～

○圃場の準備

- ・種子が玄米に混入する恐れのあるクサネムなどほ場内の雑草は、事前に抜き取りましょ。
- ・排水が悪く、軟らかい圃場では、収穫の 2 週間前頃から乾田化を図りましょ。

○作業場・機械類の準備

- ・刈り取りの 1 週間前までに作業場の清掃を行うとともに、コンバインや乾燥機、調製機械等の点検や注油を行いましょ。

〈右写真：クサネム〉



3 適正な乾燥で胴割れ等の発生を防止しましょ！

- 穂揃いが悪い場合、収穫時の粃水分のバラツキが大きくなり、乾燥中の胴割れ発生が懸念されます。送風温度を低くするなどゆっくり乾燥を心がけましょ。
- 青米やくず米の混入が多いと乾燥終了後に玄米水分が戻る場合があるので、状況に応じて仕上水分を目標水分（15.0%）より低めに設定しましょ。

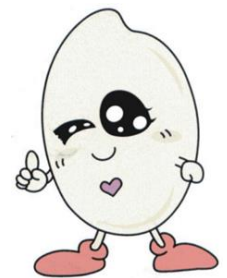
4 適正な調製で整粒歩合を上げ、1 等米に仕上げましょ！

○粃すり

- ・肌ずれ防止のため、粃すりは、粃の温度が常温近くまで下がってから行いましょ。
- ・肌ずれ米、碎米、粃の混入を防止するため、ゴムロール間隔は 0.8～1.2 mm を基準に、脱ぶ率が 80～85% になるように調節しましょ。

○米選

- ・未熟粒は粒厚が薄い傾向にあるので、必ず 1.85mm 以上のふるい目を用い、流量調節を適正にして、未熟粒やくず米を除去しましょ。



高温時の秋作業は、安全に一層注意しましょ！

- 早生品種は気温の高い時期の収穫作業となることから、いつも以上に作業者の健康管理と農作業安全を心がけましょ。
- コンバイン作業において、粃やわらなどのつまりを除去する作業が大きな人身事故につながりやすいので、修理点検時は必ずエンジンを止めるなど、安全な運転操作を心がけましょ。
- 近年、高齢者の農作業事故が急増しているため、無理のない作業速度と安全な運転操作を心がけましょ。
- 無理のない作業計画を立て、水分補給を行うとともに、適度な休息をとり、長時間の連続作業を避けましょ。

